

## 未来そうぞう科学習指導案

6年2組 安野雄一

## 1. 単元名 「自分たちにできることを考えよう」

## 2. 研究主題

## 未来を「そうぞう」する子どもを育成するためのカリキュラム開発

## (1) 単元について

「社会」や「環境」について「自分ごと」と捉えて、それに対して自分たちにできることを「想像」し、よりよい未来の「創造」に向けて、SDGsの視点をふまえてアプローチをすることができるよう、学びを紡いでいくようにする。

6年生では、「命」を中軸に据えて、主に「自然と防災・未来の社会」「科学技術と未来の社会」「平和と未来の社会」の3つにテーマを絞り、自分たちが生きる世の中の事象について関連付けながら学びを進めていく。C領域では、自ら調べて考え、友だちや実際に事象と関わっている人、実際の事物、そして自分自身との対話を通して、過去・現在の事象を捉え、「持続可能性」を探りながら、未来を「そうぞう」する実際の行動へとつなげていくように、学びを紡いでいく。その中で、これからの社会や自分自身の在り方を考える、深い学びにつなげていくようにする。

## (2) 単元の目標

【創造的実践力】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会や環境がもつ課題について、多角的・多面的に捉えながら、課題を解決する方法を考えることができる。</li> <li>・自他の考えを比較したり、関連づけたりして、新たな意味や価値を見出すことができる。</li> <li>・よりよい未来に向けて思考してきたことを、見通しをもって実践することができる。</li> </ul>	
【主体的実践力】	【協働的実践力】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら進んで調べて考え、未来の社会や環境のために、積極的に活動に取り組もうとしている。</li> <li>・社会や環境がもつ課題について自分事と捉え、課題解決に向けて考え続けることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ活動の中で積極的にお互いの良さを認め合いながら、よりよい考えを作り出そうとしている。</li> <li>・自他の考えを尊重し、協調しながら、課題解決に取り組むことができる。</li> </ul>

## (3) 活動構成の仮説

①大きな目的の達成に向けて、見通しをもって自分たちのグループに必要なことを選択しつつ活動できる場設定を行うことで、子どもたちの自己評価活動を促し、創造的実践力を育むことにつながる。

②パワーアップカードを6つの観点をもとに設定し、自己評価・他者評価に活用することが、創造的実践力の観点について子どもと共有することにつながる。

3つのコースそれぞれが、「命」につながるよりよい未来の実現という大きな目的をもって活動している。この実現に向けて、「次どうしていくか」と未来に目を向けて考える中で、自分たちのグループにとって今何が必要であるかを考えてブースを選択したり、6つの観点が入ったパワーアップカードを活用して相互評価したりすることで、見通しをもち、観点を共有でき創造的実践力を育むことにつながると考える。

### 3. 指導計画（全 25 時間 本時 15 時間目）



・・・必修



・・・選択



・・・毎時間



・・・教師のすること

学習活動と問題意識	めざす力・重要となる活動	評価の視点と方法								
		① 没頭	② 協力	③ 見通し	④ 整理	⑤ 発信	⑥ レジリエンス			
<p><b>科学技術を体験しよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラミングについて、外部講師から学ぼう。</li> <li>・mBot を使って、プログラミングをしてみよう。</li> </ul> <p><b>社会や環境と私たちの暮らし</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちの「命」は、社会や自然とどのように関係しているのか、考えてみよう。</li> </ul> <p><b>自然と平和を考えよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界で、「自然」や「平和」についてどのような状況なのか、調べて考えてみよう。</li> <li>・「自然」や「平和」をキーワードに、どのように「命」や「生活」に影響を与えることがあるのか考えよう。</li> </ul> <p><b>科学技術・自然・平和と私たちの暮らし</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ別に分かれて、グループで「命」との関係を中心に、自分で決めた目的に向けて、伝えたいことを発信する準備をしよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら進んで調べることができる。(主)</li> <li>・積極的に活動に取り組むことができる。(主)</li> <li>・進んで調べて考え続けることができる。(主)</li> <li>・イメージを広げることができる。(主)</li> <li>・お互いの考えを認め合うことができる。(協)</li> <li>・社会や環境がもつ課題について自分事として捉えて考えることができる。(主)</li> <li>・自他の考えを尊重し、協調しながら考えることができる。(協)</li> <li>・積極的にお互いの考えを認め合いながら、よりよい考えを作り出すことができる。(協)</li> <li>・自他の考えを比較したり関連づけたりして、発信したい内容をまとめることができる。(創)</li> </ul>	<p><b>未来ノート蓄積</b> 気づき、書き残したいことを書き込む。 ●積極的、進んで調べる</p>	<p><b>班交流</b> お互いのイメージしたものを交流する。 ●考えを認め合う</p>	<p><b>未来タイムモジュール</b> (次は～を考える)</p> <p><b>未来ノート蓄積</b> 自分のその時の気持ちを書くことで変容を捉える。 ●考え続ける</p>	<p><b>マインドマップ作成</b> キーワードを基にイメージを広げる。 ●イメージを広げる</p>	<p><b>写真・映像の蓄積</b></p>	<p><b>調査・資料集め</b> 自分が関心をもったテーマについて情報収集し、考えをもつ ●自分事、進んで</p>	<p><b>班交流</b> 考えたことを交流する ●自他尊重、協調</p>	<p><b>プレゼン作成・発表準備</b> チームに分かれて考えを出し合う。 ●考えの認め合い、役割分担</p>	<p><b>プレゼン作成・発表準備</b> 大きい目的に向けて伝えたい内容を明確に工夫して発信 ●比較、関連づけ、まとめる</p>



